

日本とASEAN・インドネシア

－ 50周年・65周年から未来に向けて－



Golden Friendship, Golden Opportunities
輝ける友情 輝ける機会

J J S 中学部特別記念講演会
2023年4月14日
ASEAN代表部大使 紀谷昌彦



お伝えしたいこと

1. はじめに：なぜ学ぶのか & 何を学ぶのか
2. ASEANとは何か
3. インドネシアとは何か
4. おわりに：どう未来をつくるか

1. はじめに：なぜ学ぶのか&何を学ぶのか

皆さんに質問します。

質問毎に考えてもらった後、数人に答えてもらいます。

質問 1 **インドネシア**で好きなものは何ですか？
なぜですか？

質問 2 **東南アジア**の他の国に行ったことがありますか？
(あれば) どの国がなぜ好きですか？

質問 3 インドネシアはじめ東南アジアと比べて、**日本**が
良いところはどこですか？

1. はじめに：なぜ学ぶのか&何を学ぶのか



1. はじめに：なぜ学ぶのか&何を学ぶのか

- なぜ学ぶのか

- 幸せになるために学ぶ。

- 何を学ぶのか

- 好きなことを学ぶ。興味があることを学ぶ。

- なぜ学ぶのか、何を学ぶのかがわからない時はどうするか

- 自分が幸せなこと、好きなことを考える。

- やりたいことがない時はどうするか

- 目の前のことに全力で取り組む。そこから自分が見えてくる。

- 何が大事なのか

- みんな違ってみんないい。他人の人生でなく自分の人生を生きる。

2. ASEANとは何か（①全体像）

加盟国： 10カ国

（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）

面積： 449万km²（日本の約12倍、世界の約3.3%）

人口： 6.7億人（日本の約6倍、世界の約8.6%）

GDP： 3兆3,433億米ドル（日本の約2/3、世界の約3.5%）

1人当たりGDP： 4,965米ドル（日本の約1/8、世界の約40%）

貿易額（輸出入計）： 2兆7,960億米ドル（日本の約2.2倍、世界の8%）

(参考) ASEAN各国と日本の比較

ASEANは、国の規模、体制、宗教、社会文化が異なる **多様な国の集まり**

ASEAN基本データ(2021年)

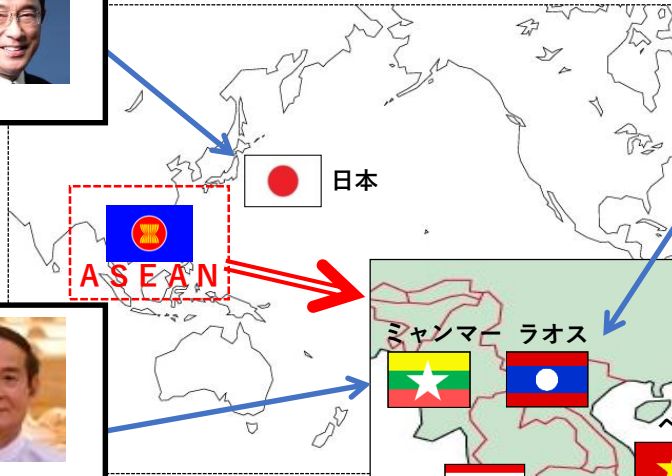
人口: 約6.7億人(世界の約8.6%)

面積: 約449万km²(世界の約3%)

GDP: 約3.3兆ドル(世界の約3.5%)

人口: 1億2568万人
GDP: 49,374億ドル
GDP/人: 39,285ドル
面積: 38万km²

岸田総理



日本



【ミャンマー】
人口: 5,481万人
GDP: 651億ドル
GDP/人: 1,187ドル
面積: 68万km²
(日本の約1.8倍)

ウイン・ミン大統領(*)



(*2021年2月以降、
ミン・アウン・フライン国軍司令官が全権掌握。)

【タイ】
人口: 6,995万人
GDP: 5,060億ドル
GDP/人: 7,233ドル
面積: 51万km²
(日本の約1.4倍)

プラユット首相



【マレーシア】
人口: 3,278万人
GDP: 3,277億ドル
GDP/人: 11,371ドル
面積: 33万km²
(九州を除いた日本)

アンワル首相



【カンボジア】
人口: 1,695万人
GDP: 270億ドル
GDP/人: 1,591ドル
面積: 18万km²
(日本の約半分)

フン・セン首相



【インドネシア】
人口: 2億7,636万人
GDP: 11,861億ドル
GDP/人: 4,292ドル
面積: 1,92万km²
(日本の約5倍)

ジョコ大統領



【ラオス】
人口: 710万人
GDP: 189億ドル
GDP/人: 2,654ドル
面積: 24万km²
(本州とほぼ同じ)

トンルン国家主席



【ベトナム】
人口: 9,817万人
GDP: 3,626億ドル
GDP/人: 3,694ドル
面積: 33万km²
(九州を除いた日本)

トゥオン国家主席



【フィリピン】
人口: 1億1105万人
GDP: 3,941億ドル
GDP/人: 3,549ドル
面積: 30万km²
(日本の約80%)

マルコス大統領



【ブルネイ】
人口: 44万人
GDP: 140億ドル
GDP/人: 31,723ドル
面積: 5,770km²
(三重県とほぼ同じ)

ハルキア国王



【シンガポール】
人口: 545万人
GDP: 3,970億ドル
GDP/人: 72,794ドル
面積: 720km²
(東京23区とほぼ同じ)

リー・シェンロン首相



(出典: IMF World Bank 財務省貿易統計)

2. ASEANとは何か（②拡大と深化）

- 1967年 バンコク宣言で設立（インドネシア・マレーシア・フィリピン・タイ・シンガポールの5か国、ASEAN5）
- 1976年 第1回ASEAN首脳会議開催（バリ）、東南アジア友好協力条約（TAC）
ASEAN協和宣言採択、ASEAN事務局設置
- 1984年 ブルネイ加盟
- 1992年 ASEAN自由貿易地域（AFTA）創設
- 1995年以降 ベトナム（1995年）、ラオス・ミャンマー（1997年）、カンボジア（1999年）が加盟（ASEANが10か国に、ASEAN10）
- 2007年 ASEAN憲章調印、2008年発効
- 2011年 東ティモールが加盟申請（2022年にオブザーバー参加決定）
- 2012年 RCEP交渉立ち上げ、2020年署名、2022年発効
- 2015年 ASEAN共同体発足、ASEAN共同体ビジョン2025（10年計画）等採択
- 2017年 ASEAN設立50周年



ASEAN 5 か国外相によるバンコク宣言署名（1967年8月8日）（出典：ASEAN事務局）

THE ASEAN CHARTER

CHARTER OF THE ASSOCIATION OF SOUTHEAST NATIONS

PREAMBLE

***WE, THE PEOPLES** of the Member States of the Association of Southeast Asian Nations (ASEAN), as represented by the Heads of State or Government of Brunei Darussalam, the Kingdom of Cambodia, the Republic of Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, the Union of Myanmar, the Republic of the Philippines, the Republic of Singapore, the Kingdom of Thailand and the Socialist Republic of Viet Nam:*

***NOTING** with satisfaction the significant achievements and expansion of ASEAN since its establishment in Bangkok through the promulgation of The ASEAN Declaration;*

ASEAN憲章 (2007年11月20日署名、2008年12月15日発効)

2. ASEANとは何か（③対外関係）

1994年 ASEAN地域フォーラム（ARF）初開催（広くアジア太平洋地域の外相が参加、北朝鮮・南アジア・EUを含む）

1997年 ASEAN+3首脳会議初開催（日・中・韓が参加）

2005年 東アジア首脳会議（EAS）初開催（更に豪・NZ・印が参加）
→2011年以降 米・露が参加

2010年 拡大ASEAN国防大臣会議（ADMM+）初開催（EAS参加国国防大臣が参加）

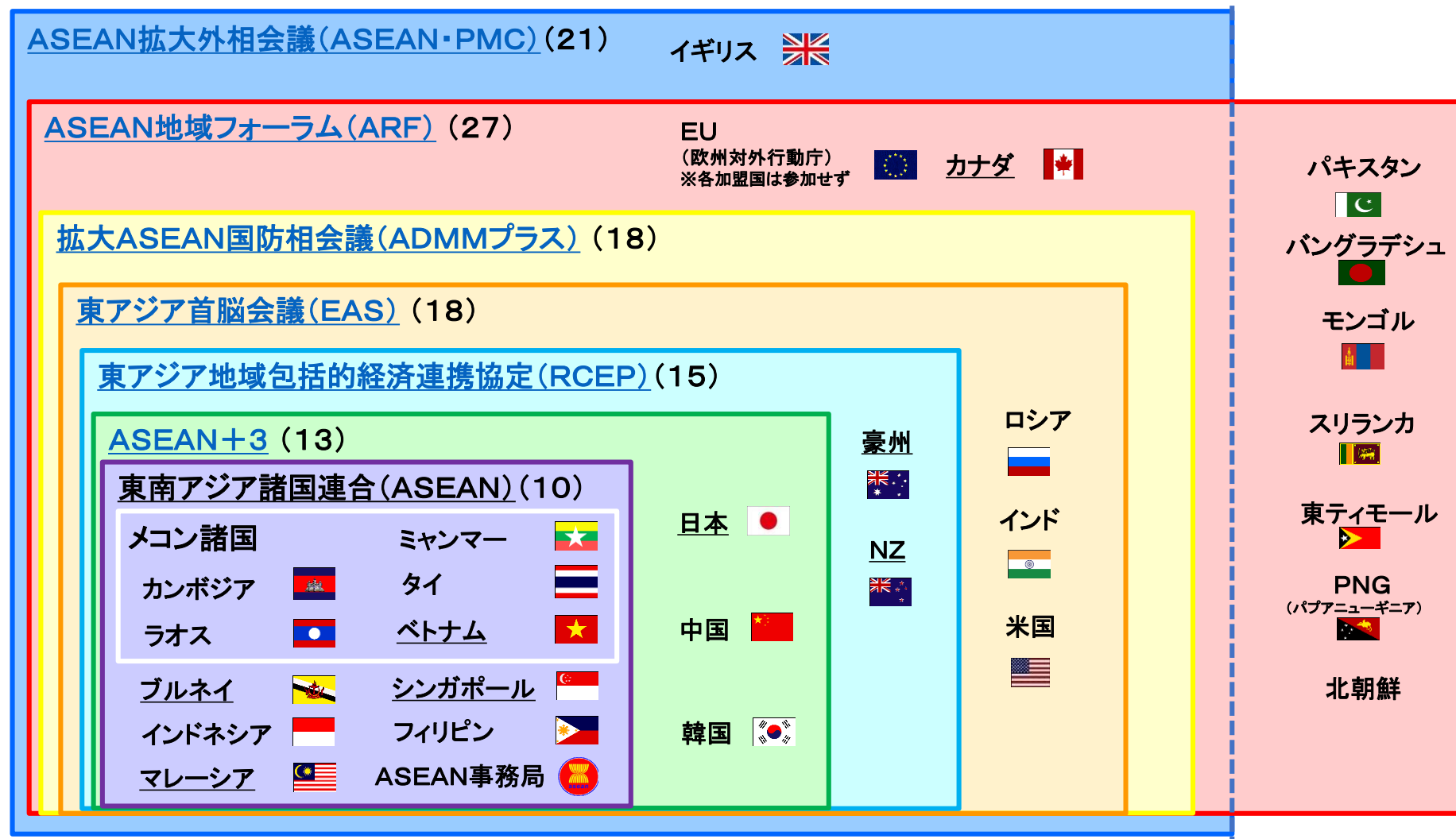
→ASEAN中心性：いずれもASEAN議長国（本年インドネシア）が開催

※1989年からAPEC閣僚会議、1993年からAPEC首脳会議開催（ASEANのうちカンボジア・ラオス・ミャンマーは未加盟）



東アジアサミット（EAS）高級事務レベル（SOM）会合（2023年3月8日、於ジャカルタ）（出典：ASEAN事務局）

(参考) ASEANの主要枠組み



注1: ()内は参加している国・地域・機関の数

注2: 下線は環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(TPP11)参加国(その他の参加国はメキシコ、ペルー、チリ)

2. ASEANとは何か（④日本との関係）

1973年 合成ゴムフォーラム設置、日ASEAN関係が開始

1977年 日ASEAN首脳会議初開催、福田ドクトリン表明

- ①平和に徹し軍事大国にならない
- ②真の友人として心と心のふれ合う相互信頼関係を築く
- ③「対等な協力者」の立場で、東南アジア全域にわたる平和と繁栄の構築に寄与

1981年 日本アセアンセンター設立

2006年 日ASEAN統合基金（JAIF）設置

2011年 ASEAN日本政府代表部をジャカルタに開設

2013年 対ASEAN外交5原則の発表

日ASEAN40周年特別首脳会議

2023年 日ASEAN50周年特別首脳会議
開催予定（於東京）



福田総理のマニラ演説（1977年8月17日）
（出典：内閣広報室）



日ASEAN友好協力50周年の[オフィシャルロゴ・キャッチフレーズ](#)と[特設ウェブサイト](#)



日本ASEAN友好協力50周年記念シンポジウム（2023年2月13日）（出典：ASEAN事務局）（[NHKニュース](#)）



[日本ASEAN友好協力50周年：
50年の歩みと今後の展望](#)（外務省）



[JAIF: 日本ASEAN友好協力50周年記念動画](#)
（日本ASEAN統合基金）

3. インドネシアとは何か (①全体像)

◆ASEANの中核

- 世界第4位の人口（2044年まで人口ボーナス期）
- 世界第1位のイスラム教徒人口
- 人口とGDPはASEAN全体の約4割

◆豊富な天然資源

- 石炭 →世界の生産の8.7%（3位）、
日本の輸入の11.5%（3位）（20年）
- 天然ガス→世界の生産の1.5%（11位）、
日本の輸入の2.8%（9位）（20年）

◆世界最大の島嶼国

- 東西5,000km、約17,000の島、
633の民族、747の言語、6つの宗教
- 国是「パンチャシラ」に基づく「多様性の中の統一」
- 重要なシーレーン「マラッカ海峡」

◆伝統的に親日的な友好協力関係

- 国民の57%が親日的（調査対象国の中で第1位
（2017年：BBC調査））
- 乗用車・二輪車の日本メーカーのシェアは9割以上
- 日本語学習者数 約71万人（世界第2位）
（※第1位は中国）（2018年）

◆安定した民主主義の下、成長著しい新興経済大国

- 国内外からの投資は高水準で推移
- 2021年の対インドネシア外国投資において、
日本からの投資は第5位

◆民主主義等の基本的価値を共有する戦略的パートナー

- 援助国・被援助国の関係から、
共に地域・国際社会の課題に取り組む関係へ

(参考) データで見るインドネシア

- 人口：2.70億人（2020年）（中央統計局）
- 面積：約192万平方キロメートル（日本の約5倍）
- 民族：約300（ジャワ人、スンダ人、マドゥーラ人等マレー系、パプア人等メラネシア系、中華系、アラブ系、インド系等）
- 宗教：イスラム教（約90%）、プロテスタント、カトリック、ヒンズー教、仏教、儒教。

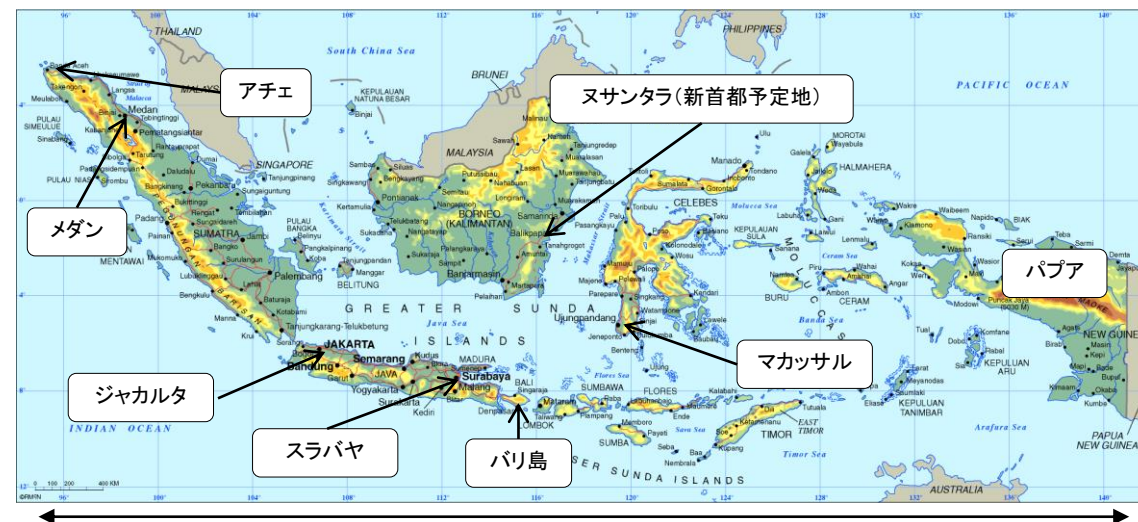
イスラム教を国教としない世俗国家。

- 一人当たりGNI：3,870米ドル（2020年）（世銀）
- 産業：製造業（19.2%）、商業等（15.3%）、農林水産業（13.2%）、建設業（10.4%）
※括弧内は実質GDP構成比（2021年）
- 在留邦人数：16,539人（2021年）
- 日系企業数：1,789社（2021年）
- 軍事：予算約136兆ルピア（約1兆680億円）
（政府予算の約4.9%、2020年予算
陸上兵力約30万人）

インドネシアの国是 「パンチャシラ」

サンスクリット語で
「5つの徳」の意味

- ① 唯一神への信仰
- ② 公平で文化的な人道主義
- ③ インドネシアの統一
- ④ 協議と代議制における英知によって導かれる民主主義
- ⑤ インドネシア全国民に対する社会的公正



東西約5,000km（米国の東西、東京＝ジャカルタと同距離）

3. インドネシアとは何か（②日本との関係）

①伝統的**友好国**

②**ASEAN**の中核

③**シーレーン**上の要衝

④日本の**資源供給元・市場・投資先**

さらに

- ・ **ASEAN**から唯一の**G20**メンバー
- ・ 去年は**G20**議長国、本年は**ASEAN**議長国
- ・ 今年は**日本インドネシア国交樹立65周年**



2018年外交関係開設60周年



2021年第2回日インドネシア
外務・防衛閣僚会合(2+2)



65th Anniversary
INDONESIA - JAPAN
インドネシア日本国交樹立65周年

新技術・スタートアップによる 日本とインドネシアの連携



首都移転予定のインドネシアで日系企業が
環境技術をPR（2023年3月20日NHKニュース）

2021-06-30 / News

ICMG、南知多町・Qlueと官民共創型での「まちづくりのデジタル化促進」に向けた実証実験に関するMOUを締結



株式会社ICMG（所在：東京都千代田区、代表取締役社長：船橋仁、以下ICMG）は、2021年6月30日に愛知県南知多町（以下、南知多町）、インドネシアでスマートシティプラットフォームを運営するスタートアップQlue（所在：インドネシア、CEO：Raditya Maulana Rusdi）と愛知県南知多町の「まちづくりのデジタル化」による地域活性化に向けた実証実験に関するMOUを締結いたしました。

【背景】

急速な高齢化や人口減少、多発する災害、インフラの老朽化など日本は社会課題先進国といわれています。このような各種の社会課題を解決する為に、日本政府も先進技術を活用した都市・地域の機能・サービスの効率化や高度化を行うと共に、新たな価値の創出を目指すスマートシティ構想を推進しています。

インドネシアのスタートアップがスマホアプリで
愛知県南知多町のデジタル化を推進
（2021年6月20日MOU締結）

3. インドネシアとは何か（③ASEAN議長国）

〔議長国インドネシアの優先事項〕

①ASEANは重要（ASEAN Matters）：

世界が直面する課題に対し、ASEANが中心性を保ち地域の安定性と繁栄の錨に。国際法や民主主義を維持、ASEANの能力及び有効性を強化、次の20年に向け準備。

②成長の中心地（Epicentrum of Growth）：

保健、食料安全保障、エネルギー安全保障、金融安定性の強化等への取組。包摂的で持続可能なASEANの経済成長を目指す。

③インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）の実施と主流化：

AOIPの4つの優先分野を主流化し、AOIP実施の具体的なプロジェクトを特定。AOIP実施のためASEANインド太平洋フォーラムを開催。

（SDGsのためのデジタル開発ユース対話、創造的経済フォーラム、インフラ・フォーラム、ビジネス・投資サミットを含む。）



インドネシアASEAN議長国キックオフイベント（2023年1月29日、於ジャカルタ）

4. おわりに：どう未来をつくるか

- 世界を動かすのは「トップダウン」と「ボトムアップ」。
→周年行事の機会を活用して、一人ひとりが今ここから行動する。
- 日本と日本人がASEAN・インドネシアと正面から向き合う。
→日本の変革こそ本丸！お互いの強みを生かして課題解決を共創する。
- 日本とASEAN・インドネシアの協力で、地域と世界を変える。
→グローバルな課題への解決を地域と世界にスケールアップする。
- 「心と心のふれ合い」の信頼で世界をつなぐ。
→皆さんが主役！日本とASEAN・インドネシアを結んで、
未来の担い手になる。

あらゆる課題は皆さんを待っている。情熱と努力で世界は変えられる。

4. おわりに：どう未来をつくるか

- 「トップダウン」と「ボトムアップ」の実践に向けて・・・

「日本は、ASEANやインドネシアとどのような関係を築いていくべきか、日本の総理大臣に提言してください。」

「それを実現するために、今、このジャカルタで、自分たちは何をやるか、決意表明してください。」